

大阪市 今昔物語

東京と違い 市民が築いた大阪のまち

「浪華の八百八橋」の由来

江戸時代の大阪は、江戸の「八百八町」、京都の「八百八寺」と並んで、「浪華の八百八橋」と呼ばれていました。本当はそんなにありませんが、街の勢いをそう表現したのです。実際の橋の数を比べると江戸の約350に対して、大阪には約200ほどしか架けられていません。

大阪がなぜ八百八橋の町と呼ばれたのかは、誰が橋を架けたのかに由来します。

町人が自腹で架けた「町橋」

江戸の橋は、約350ある

橋の半分が「公儀橋」と呼ばれる幕府が架けた橋でした。

一方、大阪では、「公儀橋」は「天神橋」「高麗橋」などわずかに12橋。残りの橋は、全て町人が生活や商売のために自腹を切って架けた「町橋」だったことからそう呼ばれたのです。

大阪市役所の南側を流れる土佐堀川に架かる「淀屋橋」は、江戸時代に諸国から大阪に上ってくる諸藩の米を売りさばく米市を北浜に開き巨万の富を得た豪商淀屋の名を冠したものです。淀屋の豪華な生活ぶりが幕府のにらむところとなり私財が没収され、淀

屋橋は「公儀橋」にされ、現在も重要な交通路として御堂筋を支えています。

大阪人がつくった財産

中央公会堂は明治の株式仲買人である岩本栄之助が当時の100万円を寄付し、府立図書館は住友家の寄付によって建てられたものです。

幕府や政府に頼らず大阪人が自らつくった街の財産が、いま、大阪市民の共有財産として引き継がれています。

橋下市長は、「都」構想で大阪市をなくし、市民の共有財産を売り飛ばそうとしています。歴史も伝統もふみにじるものです。とても許せるものではありません。

淀屋橋と大阪市役所



今日の 特集

子どもの笑顔 はじける大阪に

子どもは社会の宝。豊かな成長はみんなの願いです。大阪市民みんなが力をあわせて、子ども医療費を「中学校卒業まで助成する制度」に改善させてきました。ところが、大阪市が廃止、解体されると、年収が今の4分の1に激減した「特別区」になり、財源不足でこれまで市民がつくってきた子育て支援策の改悪、削減がすすみます。

(2~3頁に続く)



子ども医療費助成の改善を求める運動



反対

5.17
住民投票

日刊 LOVE
OSAKA
大阪

大阪市をよくする会 検索

よみがえれ
大阪

「棄権は危険」ぜひ投票に行き、「反対」とお書き下さい。

「大阪市をよくする会」機関紙 2015年 5月7日 第390号
〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館3階
TEL (06) 6356-2047 FAX (06) 6357-5303
HP : <http://yokusurukai.com> Mail : yokusurukai@nifty.com
大阪市をよくする会は、大商連、大阪労連、民医連、新婦人、日本共産党、陣連協、大生連、大信連、民青、民権連、年金者組合などで構成されています。